

## 令和6年度 第2回川崎市宮前市民館専門部会会議録（要旨）

日 時 令和6年9月24日（火） 14:00～16:00

会 場 宮前市民館 第4会議室（4階）

|     |        |               |                      |
|-----|--------|---------------|----------------------|
| 出席者 | 部会長    | 川西 和子         | 調査モデレーター・分析・各種司会     |
|     | 副部会長   | 山本 太三雄        | 菅生分館利用者懇談会           |
|     | 委 員    | 白武 初江         | 宮前第6地区民生委員児童委員協議会 会長 |
|     |        | 高久 實          | 宮前区全町内・自治会連合会 理事     |
|     |        | 檜崎 光雄         | 市民委員                 |
|     |        | 中川 正彦         | 川崎市立富士見台小学校 校長       |
| 欠席者 | 宮下 大志  | 宮前区PTA協議会 副会長 |                      |
|     | 渡辺 美代子 | 宮前区文化協会 会計    |                      |
| 事務局 | 宮前市民館  | 大木館長・徳原係長     |                      |
|     | 菅生分館   | 田添分館長         |                      |

会議の成立 委員8名中6名出席のため、成立

会議の公開・傍聴人 2名

### 次 第

#### 1 宮前市民館長あいさつ

#### 2 議事

##### （1） 報告事項

- ・宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業について

##### （2） 協議事項

- ・今期の研究課題について

##### （3） その他

- ア 第3回・第4回（宮前市民館専門部会および市民自主学級・市民自主企画事業の提案会と選考）の日程について

- ・ 第3回宮前市民館専門部会の候補日

令和6年12月 3日（火）午前10時～12時・午後2時～4時

〃 12月 4日（水）午後2時～4時

〃 12月13日（金）午後2時～4時

〃 12月17日（火）午前10時～12時

- ・ 第4回宮前市民館専門部会（令和7年度 市民自主学級・市民自主企画事業の提案会と選考）の開催日および会場

令和7年2月16日（日）午後1時～午後5時頃（予定）第4会議室他

イ その他

## 配付資料

令和6・7年度 川崎市社会教育委員会議宮前市民館部会 委員名簿

資料1 令和6年度 宮前市民館 社会教育振興事業実施状況

資料2 令和6年度 宮前市民館菅生分館 社会教育振興事業実施状況

（参考）

- 宮前市民館だより 第256号（8月1日発行）、第257号（10月1日発行予定）
- 菅生分館だより 第186号（9月1日発行）

### ●宮前市民館事業チラシ

- 「夏休み子どもあそびランド2024」  
多様な主体が参画する子どもあそびランド事業
- 「宮前を知ろう歩こう楽しもう」  
市民自主学級
- 「かわさき100年 本に描かれたわが町を探れ」  
市民自主企画事業
- 「みやまえ子育てフェスタ2024」  
課題別連携事業
- 「みやまえ子育てフェスタ2024 学生ボランティア募集」  
課題別連携事業
- 「テレビ局の現場を知ろう」  
青少年教室事業
- 「ChatGPTを日常に活かしてみよう！」  
市民講師事業
- 「セルフケアヨガ」  
市民講師事業
- 「ボランティアによる、無料スマホ相談会 8・9・10月」  
現代的課題学習事業

### ●菅生分館事業チラシ

- 「赤ちゃん期の今だからできること きいてみよう！ やってみよう！」  
家庭・地域教育学級
- 「児童室であそぼう Day」  
子育て支援啓発事業
- 「親子で自然エネルギー工作を楽しもう！」  
市民自主企画事業
- 「3世代で学ぼう！ 子どもの発達学」  
市民自主企画事業
- 「親切・丁寧なスマホ教室」  
市民自主企画事業

### ●生涯学習情報誌「ステージアップ」 Vol.250

## 1 宮前市民館長あいさつ

## 2 議事

### (1) 報告事項

#### ・宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業について

宮前市民館の社会教育振興事業について、資料1に基づき、徳原係長から説明を行った。

#### (補足説明)

多様な主体の社会参加推進事業「夏休み子どもあそびランド」は当初8月17日・18日の2日間実施予定だったが、台風のため17日は中止し、18日に開催した。1日になったが来場者が多く、コロナ前より盛況であった。今回は宇宙をテーマに掲げ、青少年科学館と連携して大ホール舞台上でのプラネタリウム体験等を行った。

シニアの社会参加事業では「趣味のスマホと園芸」を実施。今年は市政100周年で緑化フェアも開催されることから園芸を絡めた講座とした。受講者は講座終了後も同窓会を実施しており、今後のつながりづくりが期待できる。

市民講師活用事業の「ChatGPTを日常生活に活かしてみよう」と「セルフケアヨガ」は申込が大変多かったため、年度内に再度実施できるよう、講師と調整している。

市民自主学級、自主企画事業については、も9月から3事業がスタートし、いずれも定員を超える応募があった。

青少年教室事業を今年度も実施し、一昨年から続いている市民館を居場所に活動をしてくれる若い世代の育成を行った。

菅生分館の社会教育振興事業について、資料1に基づき、田添分館長から説明を行った。

#### (補足説明)

子育て支援啓発事業「児童室であそぼう Day」では、青少年科学館と連携して児童室でプラネタリウムを開催予定。

青少年教室事業「マナビのタネをみつけよう」では、今年も多くの利用団体の協力を得ながら、夏休みに子どもたち向けの事業を開催できた。

シニアの社会参加支援事業ではスマホボランティアの育成講座を実施し、その講座の受講者と一緒に、月に一回、高齢者向けにスマホに関するおしゃべりができるような場所を提供できないかと計画している。

市民自主企画事業では「親子で自然エネルギー工作を楽しもう」と「今と昔は違うよ！3世代で学ぼう！子どもの発達学」が実施済み。講座を実施する団体の人たちがとても熱心で、素晴らしい講座になった。

## (2) 協議事項

- ・今後の研究課題について

### (質疑応答・意見交換)

宮前市民館・菅生分館の事業や今期の研究課題について、意見交換を行った。

檜崎委員

市民館・分館で企画している事業はほとんど当たっていて、いい仕事ができていると思う。「障がい者社会参加活動」でeスポーツをするという話が出たが、スポーツと銘打ってはいるものの要はテレビゲームであり、推奨するような事業はどのようなのか。

中川委員

小学校校長で児童と接しての現場の立場から、不登校気味の生徒について考えると功罪両面があると思う。学校には来られなくてもインターネットという別の場面で他者との交流ができれば社会と繋がる場が生まれるが、ゲームだけにはまってしまう、のめりこんでしまう恐れがある。

障がいのある人と健常者は、普通のスポーツではなかなか一緒に競技に参加することが難しい。そういう点では共にeスポーツを行う意味があるのではないか。

檜崎委員

先ほど説明のあった「ブルースター」とは、どのような団体なのか。

徳原係長

以前「文化魂」という事業で中高生を育てようとしていて、活動が途切れてしまったが、ブルースターは青少年教室から派生した新たな団体だ。最初は「みんなの校庭プロフジェクト」で学校開放をしようといったときに集まってきた人たちで、「夏休み子どもあそびランド」に関わり、昨年度末にはギャラリーでの展示も行った。6～7人登録しているが、現在活動しているのは中学生から大学生までの3～4人程度だ。

檜崎委員

若い力があると、面白いことができる。現在の各種委員や講座参加者は、シニアの世代が多い。若い時から市民館に関わっていれば、生涯にわたって館の講座等に参加するきっかけになる。

高久委員

シニア向け講座は「スマホ」がキーワードで、スマホを通じて交流する企画には人が集まる。ヨガの講座について説明があったが、「健康」も関心が高い。こうした講座を柔軟に数多く実施すれば、市民が喜んで参加するのではないか。

檜崎委員

スマホにより、講座等の参加者内に留まらない横展開も期待できる。

川西部会長

菅生分館の青少年教室事業「菅生分館でマナビのタネをみつけよう」や市民自主企画事業「親子で自然エネルギー工作を楽しもう」の学校への広報はどのように行ったのか。

田添分館長

近隣の学校にチラシを持参し、来場を呼び掛けた。エネルギー工作は交流の場としての意義もあり、子どもより親の方が熱心だった。

川西部会長

今の子どもは友達の家遊びに行けない。昔のように子ども同士の約束だけではお互いの家を行き来ができない風潮があり、子どもの世界が狭くなっている。他の家庭や家族の様子を知らないで、そういった意味でも他者との触れ合いの場として有意義な事業である。

菅生分館の市民自主企画事業「今と昔は違うよ！3世代で学ぼう！子どもの発達学」や、家庭・地域教育学級「推しは、ウチの子」は、地域の中で子どもたちの世界を広げる取組であり、素晴らしいと思う。

「3世代で学ぼう」の参加者は親子6組15人、大人のみ7人とのことだが、どのような大人が参加したのか。

田添分館長

子どもへの声かけの仕方やふれあい方が分からない、孫との接し方が分からないから参加したという人がいた。実技と座学を一緒に学べたのが新鮮だったと聞いている。

川西部会長

市民講師はどのように採用しているのか。

徳原係長

市政だより、市民館だよりやホームページ等で募集の広報を出しており、謝礼なしのボランティアとなっている。

田添分館長

菅生分館単独では募集せず、市民館と連携している。

山本副部会長

市民自主学級ではその道の専門家を講師に招いて実施している。市民講師と区別せず、同じかたちで受け入れたらどうか。

田添分館長

市民自主学級では提案者が講師を呼ぶが、自分が講師となって教える市民講師はボランティアで、自分の力を地域に還元できる。

山本副部会長

市民自主学級、市民自主企画事業は3月に決定されるので、年度初めに事業実施しにくい。4～8月頃に、市民講師の事業ができるといいのではないか。さらに、市民自主学級・市民自主企画事業の広報に合わせて、市民講師をも募集してもいい

のではないかと。

今後の取組として、市民館サポーターズといった組織をつくったらどうか。

川西部会長

年度当初は、人事異動によって動き出しにくい面もあるのではないかと。

大木館長

人事異動による効果もある。どんな講座がいいかは外からの視点も大事で、市民館経験の長い職員だけでなく、外の部署から来た職員の第3者的な視点も役に立つ。

学生の参加について補足したい。宮前市民館で実施した青少年教室事業「テレビ局の現場を知ろう」には、小学生14人・中学生4人・高校生3人が参加し、マスコミ関係の講座が興味を引いたのか、市民館が初めてという人も多かった。

山本副部会長

前回の部会でも依頼したが、ロビーカフェの際に机と椅子を置くのが大変なので、常設できないかと。

大木館長

前回の意見を受けて、新たに椅子を常設した。多くの人に気持ちよく使ってもらえるよう、椅子は間隔を空けて設置している。

以前は机と椅子を常設していたが、カフェの準備をする時にそれまで使っていた人に移動してもらうのが難しく、机等を撤去した経過もあるので、机は置かないことにした。さらに要望があれば教えてほしい。

檜崎委員

市民館の活動を広報する「宮前市民館アプリ」を作ることはできないかと。

宮下委員

既存のかわさきイベントアプリを活用できるのでは。

中川委員

かわさきイベントアプリは、保護者に登録してもらっていて、子どものタブレット端末にもインストールされている。学校現場で紙媒体を配布するのは難しく、仕分けの手間がかかり、配る時間もないため、結果的に授業時間を削ることになる。

檜崎委員

市民館だよりはレイアウト等を変えたため、前年度より良くなったが、SDGsを考えれば紙媒体よりはスマホだと思う。迅速で届く人も多い。

高久委員

町内会もデジタル化しているが、紙媒体を廃止するのではなく、市民館2階ロビーに置くチラシも維持し、デジタルと紙を両立してはどうか。

大木館長

市民館2階ロビーのチラシコーナーを改善し、「絶賛募集中」や「満員御礼」など、来館者に視覚的に訴える表示も行っている。市民館に来た人に気付いてもらう

取組を行っており、満員になる講座が増えているように感じる。

川西部会長

前回の部会で話し合われたことのキーワードは「循環」だったと思う。市民が市民館の講座を受け、活動して地域に還元し、さらには次の講座の担い手となっていく循環が起こるのが望ましく、スマホボランティアは既にそうになっている。

今日の議論では、市民講師や広報の大切さ、イベントアプリの活用などに話が及び、市民館サポーターズを作りたいという提案もあった。

今後の研究課題をどのようにしたらいいか。

檜崎委員

「スマホ」も大切なキーワードだと思う。

川西部会長

研究課題としては、「地域住民との繋がりと循環 ～市民館サポート体制の確立～」としたい。研究課題に「スマホ」という言葉として入らなくても、内容としては意識する。さらに、今期、新たに「市民館サポーターズ」を作ることを目指すこととし、ワーキンググループで検討を進めるということによいか。

委員から了承をいただいたので、ワーキンググループは月1回程度開催する。初回会議は10月17日（木）の9：30から11：30に市民館グループ室で行うので、参加をお願いしたい。

### （3）その他

第3回部会は委員の予定を踏まえて、12月13日（金）午後2時～4時に開催する。第4回部会については、2月16日（日）午後1時～5時とする。